

コロナ感染・重症化とインスリン不全症

コロナ重症化共通因子は、インスリン善玉作用低下と想定され、代償高血糖症（抵抗性）も悪玉過剰症として、感染時結合蛋白（ACE）増加を来すので、関与の可能性大、メタボ・生習病も共通病因です。最善の策は、A五輪が象徴の運動習慣です。肥満は、上記を来し、小脂肪細胞が分泌するアディポネクチン（イ善玉作用・脂肪分解増強、食欲軽減・動脈硬化抑制）が肥満で細胞が大となり、低下（欠乏マウス⇒メタボ発症）。運動はアディポネクチン作用に必要なAMPキナーゼを直接活性化、糖利用を全身(脳以外)で促進。次策は、B適性体型（ウエスト、男：85、女；80cm未満）とC適正生活習慣（禁煙・睡眠・回復、益せぬものはくちにせず）。コロナ禍の今こそ、上記の基本の上に適正服薬・必要医療で目標達成し、健康増進へ福と成しましょう。